

やつしろ市議会だより

平成26年9月定例会



▲子供たちによる議場見学

《税金はどう使われているのかな？施設見学をしながら勉強しましょう！》

をテーマに八代税務署管内の小学生(小学4年生～6年生)を対象に議場見学が行われました。

主 な 記 事

◎ 9月定例会の流れ	2
◎ 委員会報告	3
◎ 質疑・一般質問(19人が登壇)	5
《特集》	
◆熊本市議会議員研修会開催.....	11
◆本市の行政視察受け入れ状況.....	12
◆総務委員会・行政視察の報告.....	13
◎ 9月定例会採決結果一覧	14
◎ 意見書	16
◎ 決算審査特別委員会設置	16
◎ 編集後記	16

第37号

平成26年11月1日発行

編集・文責

八代市議会広報委員会

☎ 0965-32-5984
(市議会事務局)

9月定例会の流れ（会期25日間）

月 日	会議名	内 容
9月 1日（月）	本会議（提案理由）	・ 市長より平成26年度一般会計補正予算を含む議案18件が提案
9月 8日（月）	本会議（質疑・一般質問）	・ 19人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 ・ 11日（木）に市長より、補正予算1件の追加議案 ・ 各議案を関係常任委員会に付託
9日（火）	〃	
10日（水）	〃	
11日（木）	〃	
16日（火）	建設環境委員会	・ 付託議案を各常任委員会で審査（継続審査となっている請願陳情含む）
17日（水）	文教福祉委員会	
18日（木）	経済企業委員会	
19日（金）	総務委員会	
25日（木）	本会議（討論・採決）	・ 各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 ・ 市長より平成25年度各会計決算議案12件が追加提案（継続審査） ・ 決算審査特別委員会設置 ・ 市長より、人事案件1件が追加提案され、採決 ・ 発議案第2号・3号・4号が提案され、採決 ※各議案の採決結果については、14～15ページを御参照ください。

平成26年度一般会計補正予算

4億9,081万9千円

○地域介護・福祉空間整備等交付金事業

3,585万1千円

平成27年4月1日施行の消防法改正により、これまでスプリンクラー等の設置義務がなかった275平方メートル未満の認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護事業所等についても新たに設置義務の対象施設となったことから、国の「地域介護・福祉空間整備等交付金」を活用し、入居者の安全面の確保のため施行に先駆けて整備を行うものです。

○緑の産業再生プロジェクト促進事業

973万5千円

県の「緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金」を活用し、大型の高性能林業機械や木材関連施設を導入するために係る経費です。

○学校体育振興事業（中学校）

262万4千円

全国大会・九州大会の出場人数が、当初の予定人数を上回ったことなどにより、不足額を補正するものです。

など

議案・発議案など23件を議決

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、九月二十五日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆平成二十六年八代市一般会計補正予算・第四号・空き家バンク調査事業について

問 空き家調査費用の積算根拠について

答 調査対象地域内の家屋数約一万五千戸のうち、一割程度の約千五百戸が空き家と想定し、空き家一戸当たり、三千円から四千円程度の費用がかかるの見込んでいます。



問 平成二十八年度の空き家バンク制度設置以降、本制度に対する本市のかかり方について

答 現段階においては、各関係機関との協議は行っていないが、今後、宅建協会などと協議を行い、検討していきたい。

意見 本事業に対して、期待感を強く持っている中で、事業開始前にはしっかりと検討し、取り組んでいただきたい。

意見 本事業における空き家物件の交渉・契約等の仲介部分については、宅建取引の資格が必要とされることから、今後も空き家がふえていくと予想される状況において市は、有資格者の配置も考えていただきたい。

文教福祉委員会

◆平成二十六年八代市一般会計補正予算・第四号・各種予防接種事業について

問 肺炎球菌及び風疹に係る予防接種の対象者の把握とその周知方法について

答 肺炎球菌の予防接種対象者については、本市の年齢人口及びこれまでの予防接種率を参考に割り出している。また、風疹の予防接

種対象者については、県から示された算式に当てはめ算定している。周知方法については、市報を活用するとともに、ホームページやエフエムやつしろ等でも周知を行うが、対象者が高齢者に限定される肺炎球菌の予防接種に關しては、個別通知を考えている。

問 高齢者を対象とした肺炎球菌や妊娠を希望する女性等への風疹の予防接種については、二重接種の危険性や対象者が個々で接種が必要かどうかを判断しなければならず、市として、対象者の中でも本当に予防接種が必要な方に対して、どのような周知を考えているのか

答 任意で予防接種が既に済んでいる高齢者に対しては、接種の必要がない旨を記載した通知を個別に発送することとしている。その上で、医療機関においても、予防接種の記録をカルテに記載されているところもあるので、医師と相談をしながら受けていただきたいと思う。また、風疹の予防接種に関しては、任意で過去に接種していたとしても抗体検査をしてみないと対象者の割り出しができない状況である。よって、これらを十分踏まえた上で周知を行い、医療機関と連携を図りながら、必要な方に予防接種を受けていただければと思う。

その他の主な質疑

○水痘及び肺炎球菌の予防接種に係る委託料の算出方法について

○地域介護・福祉空間整備等交付金事業における事業所に対する補助金の算定基準について

○本市におけるスポーツ選手のレベルについて

○本年度下半期において、学校体育振興事業を利用するような大会開催予定及び出場に際し補助する旅費の積算根拠について

経済企業委員会

◆平成二十六年八代市一般会計補正予算・第四号・フードバレー事業について

問 対象となる事業者については、どのように選定したのか

答 国から三次募集という形で行われ、事業募集期間が一箇月程度と非常に短く、また、事業計画もある程度熟度の高いものでなければならなかったため、市のほうで事前に、さまざまなネットワークを通じ、把握していた中から適切と思われる事業者に募集を紹介する形で選定した。

問 今回の事業は、募集期間も短く、申請に当たっては諸条件もあることから、市が事前に把握していた事業者を選定したことは理解するが、今後、このような事業を募集する際は、どのような方法によって行う予定なのか

答 今回に限らず、これまでも補助制度の情報があれば、本市のホームページへの掲載や、熊本県南フードバレー推進協議会の会員にメール等を送ることで広く周知してきた。加えて、現在、各事業者への戸別訪問も実施しており、各事業者の事業内容に適した補助制度がある場合は、随時、制度を紹介している。今後も、一層、周知徹底に努めていきたい。

その他の主な質疑

○食育推進育成事業の事業主体及び事業内容について



総務委員会

◆平成二十六年八代市一般会計補正予算・第四号・消防団整備事業について

問 携帯用無線機の性能について

答 購入を予定している携帯用無線機については、出力が約十ワット、もしくは約五ワットで、通信可能距離が、平野部など見晴らしのよい場所では約四キロ範囲、山間部など障害物等がある場所でも約一キロ範囲は通信可能である。

問 今後、衛星通信を利用した通信手段の導入は考えていないのか

答 現在、本市では、衛星電話を防災安全課に一台、五家荘地区に四台、坂本地区に一台配備している。衛星電話はバッテリー等の関係もあり、避難所などに配備している状況であり、将来的には、衛星通信を利用した携帯用無線機を配備したいと考えているものの、機器の価格や維持費が高額となることもあるので、導入については、経費を精査し、今後検討していきたい。

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、9月8日から11日までの4日間、19人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

行政関連



笹本 サエ子

質問通告

○八代地域人権オンブズパーソン休止問題について
○子ども・子育て新制度について

◆八代地域人権オンブズパーソン休止問題について

問 八千把自治会にかかわる人権案件は、判決で権利関係が確定しており、「受理しない」とした運用規定を無視。弁護士的な役割を果たす者が存在しない中での調査は、新たな人権侵害を生む。「部落問題をはじめ」という人選基準に基づき部落解放同盟八代支部長を選出。以上の事項は、本制度設置要綱及び運用規定と矛盾している。市の認識を問う。

答 市民協働部長

本年五月、八代市及び氷川町等で構成する八代地域人権教育のための推進会議総会で、本制度の見直しが議決されたことにより、推進会議にワーキングチームを設置し、見直し作業が進められている。市においても、歩調を合わせながら検討を進めたい。議員より指摘のあった問題も含め、いろいろな御意見をいただいており、見直しをする中で、よりよい制度となるものと認識し、制度上の問題を洗い出し、見直し検討を図ってまいりたい。



上村 哲三

質問通告

○フードバレーやつしる基本戦略構想の推進について
○八代ブランド戦略について
○過疎地における地域活性化対策について

◆過疎地における地域活性化対策について

問 高齢化・少子化による人口減少は、国全体の悩みである。本市においても同様で、特に市の周辺地域、坂本・泉・東陽・二見・龍峯・宮地では高率で人口減少が見られる。この過疎地域には、これまで以上の行政による支援が不可欠と考える。そこで、本市における過疎地域活性化の対策について、これまでの取り組みとその成果、今後の取り組みを伺う。

答 企画振興部長

総合計画に基づきハード・ソフト両面で対策を実施し、各地域の生産力の向上や社会生活に関する機能の維持向上を図っている。本年度は、県立大学において坂本等の過疎地域を対象として、空き家の活用をテーマとして調査研究が実施される。市としても空き家、耕作放棄地等の活用モデル事業やPR用パンフレットの作成、空き家バンク制度の構築を予定。また、地域にかかわる定住化対策事業の際には、地元の御理解と御協力をいただきながら実施したい。



矢本 善彦

質問通告

○住民自治によるまちづくりについて

◆住民自治によるまちづくりについて

問 本年度より、全校区で地域協議会が設立された。現在、後期計画が策定中であるが、地域における問題や新たな課題が生じているものと考ええる。住民の不安を解消するため、行政による支援や財政支援はどのように考えているのか。その他、市政協力員の見直し、職員の意識改革について問う。また、住民自治によるまちづくりについて市長の思いを問う。

答 市長 現在、住民自治によるまちづくり行動計画（後期）を策定中であり、素案として七つの重点項目案をまとめた。財政支援の拡充や人的支援として市職員の配置、公民館からコミュニティセンターへの移行のほか、市政協力員制度の見直し等を計画期間内に進めていくことを盛り込んでいる。住民自治の推進に当たっては、市長として、強いリーダーシップを持つとともに、職員の意識改革にも努め、住民の皆様からしっかりと意見をいただきながら進めていきたい。



松永 純一

質問通告

○本市の行財政改革について
○財政計画について
○地すべり・急傾斜地対策について
○乗合タクシー運行事業の見直しについて

◆地すべり・急傾斜地対策について

問 八月二十日広島市で、集中豪雨による土石流災害が発生した。死者七十名を超える甚大な災害となった。本市でも同様の豪雨に襲われれば、いつ大災害が起きてもおかしくない状況である。そこで、本市における地すべり・急傾斜地等危険箇所の指定の種類と指定状況について問う。また、本年度県が行っている事業の具体的内容と規模等について問う。

答 建設部長 本市では、国土交通省所管の地すべり危険箇所、急傾斜地危険箇所、土石流危険渓流として計八百九十五箇所。農林水産省所管の山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、地すべり防止危険地区として計三百九十六箇所が指定されている。本年度は、国土交通省所管で、地すべり対策事業など十力所を事業費約三億九千万円。農林水産省所管では、治山事業として、崩壊土砂流出危険地区など十力所を事業費約三億一千万円で県が事業を行っている。



野崎 伸也

質問通告

○八代市観光振興計画の進捗状況について
○固定資産税の課税状況について
○さかもと温泉センター株式会社経営状況報告書について

◆固定資産税の課税状況について

問 納付額が大きい固定資産税は市民の関心も高く、公平な課税と収納が求められる。そのような中、市民からは、新築家屋評価調査後の増築や、ガレージ設置等は課税漏れになっっているのでは、との声も聞かれる。また他市では、農業ハウス等の償却資産への課税漏れが指摘された事案もある。そこで、本市の課税状況と前述の課税への不公平がないか伺う。

答 総務部長 課税対象となる家屋の把握は、建築確認申請や登記簿の受け付け情報をもとに行っている。その他にも県などの関係機関からの情報や職員の巡回によっても把握している。家屋評価調査後の増築や車庫などで家屋としての基準を満たすものについてと同様に把握し、調査を実施している。また本市では、市町村ごとに実施にばらつきが見られる税務署への確定申告書等の閲覧は、課税対象となる償却資産の把握調査の充実のため、毎年継続して実施している。



増田 一喜

質問通告

- 一般廃棄物収集運搬業務委託について
- 障がい者支援事業について
- 台湾訪問の目的と成果及び今後の政策について

◆一般廃棄物収集運搬業務委託について

問 今般の不公平さや、疑義が目立つ一般廃棄物収集運搬業務委託契約は、来年八月三十一日が契約満了日である。次回の一般廃棄物収集運搬業務委託契約及び入札参加資格要件を見直して、公明公正に入札を実施していただきたいが、どのように考えているか伺う。

答 環境部長 平成二十二年度に締結した一般廃棄物収集運搬業務委託の委託契約について、地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、八代市契約規則等の関係法令に照らし、現在部内において、前回設定した入札参加資格参加要件を含め、収集・運搬・処分等の基準、委託基準、委託料等や、本市における各種規則等との整合性、裁判判例等にも配慮しながら、平成二十七年度の契約の更新について、あらゆる角度からの検証を行っている。



福嶋 安徳

質問通告

- 防災対策について
- 災害時における情報連絡体制について
- 災害時における避難対策について

◆防災対策について

問 市の防災体制において、災害対応能力の現状と消防団を中核とした防災力は強化されているのか。現在他自治体では、災害緊急情報などの広報を二百八十メガヘルツ帯の周波数を利用した防災ラジオが開発されている。本市の防災に関する広報媒体は、防災行政無線で、老朽化やシステムの不統一といった課題がある。そこで、防災に対する市の考えを伺う。

答 市民協働部長 本市では、地域防災計画を策定し、それに基づき防災対策を行っている。消防団については本年二月に装備基準の改正が行われたが、本市は広範囲であるため、地域に応じた整備計画を策定し配備を行う。市民への情報発信は防災行政無線やエフエムやつしろ、ホームページ等で行っている。また、携帯電話やパソコンにメールで情報提供する登録制の緊急情報配信システムを運用している。防災ラジオ導入については、情報伝達手段の一つとして検討していきたい。



堀 徹男

質問通告

- 補助金のあり方について
- 社会教育団体への補助金のあり方について
- 八代よかとこ宣伝隊について

◆補助金のあり方について

問 地方交付税が、平成二十八年度から三十三年度にかけて段階的に総額三十六億円縮減されることに対し、市は、対応せねばならない。今年度一般財源における補助金交付額は十二億円であるが、補助金制度も縮減の対象となるとすれば、その交付に当たり現在指針となる基準や運用方針等はあるのか。また、課題解決に向け今後の取り組みについて伺う。

答 総務部長・企画振興部長 予算編成に伴う補助金の要求基準では、補助金には期間を設け、実績報告書などを参考に、既得権化しているものについては、積極的に見直しを行うよう各課に促している。現在、補助金の適正化につながる運用指針等はないが、必要性、費用対効果、経費負担のあり方など既存の補助金の適正化や新規補助の指針づくりは重要だと考えるので、早い時期に、より適正で、透明性の高い補助金制度が確立できるよう取り組みを強めたい。



堀口 晃

質問通告

- 第2期中心市街地活性化基本計画について
- 新庁舎建設計画と財源について

◆新庁舎建設計画と財源について

問 新庁舎建設については、平成三十二年の完成を目指し、調査・研究及び計画の策定に向けて話し合いがもたれていると聞く。計画に当たっては、バスターミナルや観光バスの駐車場を備えることや、コンビニや物産館、ファミレスなどのテナントを併用した多機能型複合施設を建設することで、市の収入源となる新庁舎を建設する考えはないか問う。

答 総務部長 新庁舎建設については、庁舎建設基金と合併特例債を活用予定としており、合併特例法の延長期限である平成三十二年度完成を目指している。そのために、まず建設候補地の絞り込み、埋蔵文化財調査を行いながら、基本構想を練り、基本設計・実施設計と進める。建設予定地が確定し、敷地の形状がわかり次第、基本構想の中で、施設の機能や規模、敷地内のレイアウトなどについて、議会や市民の皆様の意見をいただきながら協議検討を重ねていきたい。

福祉関連



鈴木田 幸一

質問通告

- 政府要望について
- 都市計画について
- 八代・天草架橋について
- 福祉施設の充実について

◆福祉施設の充実について

問 地域福祉をリードする施設には、老朽化している施設が多く存在する。特に、鏡地域福祉センターは、建築後二十二年経過しているものの、民間の福祉施設にも劣らない多様な事業内容である。しかし、近代的な福祉施設に比べ、サービス内容だけでは十分とは言えないこともある。利用者の安心・安全のためにも早期改修が必要と思うが、市の方針を問う。

答 健康福祉部長 鏡地域福祉センターにおいては老朽化が進み、合併後、毎年改修を行っている状況である。同様に各地域福祉施設についても開設後二十年前後経過しており、どの施設も老朽化が進んでいるため、その都度改修や修繕を行っている。これらの施設は、高齢者や障害者等の社会的弱者が、介護保険サービス等を利用することから、安全・安心に利用していただくためには、施設の適切な維持管理は必要と考えている。今後とも、改修の必要度が高い順に計画的に進めてまいりたい。



島田 一巳

質問通告

- 八代地域人権オンブズパーソンについて
- 少子化対策について

◆少子化対策について

問 将来を考えた場合、少子化対策は最重要課題として位置づけ、対策を講じなければならない。
こども医療費助成の対象年齢の引き上げは、大変有効だと考える。
第三子保育料の無料化及びこども医療費助成の対象年齢引き上げについて市の考えを問う。

答 健康福祉部長 現在の三歳未満を対象としている第三子保育料無料化の全年齢への拡大、こども医療費助成の対象年齢引き上げは、早い時期に実施できるよう検討を進める。とりわけ、こども医療費助成については、影響額等の精査を行い、まずは、小学六年生までの対象年齢拡大に向け取り組んでいきたい。





太田 広則

質問通告

- 地域包括ケアシステムの構築と取り組みについて
- 高齢者ボランティア（地域活動）ポイント制度の推進について
- 県道二見田浦線道路改良事業の八代市側工期遅延について

◆地域包括ケアシステムの構築と取り組みについて

問 高齢者が住みなれた地域で安心して、自分らしい生活を続けられる新しいケアシステムの構築は、深刻な超高齢社会への対応に欠かせないと考える。医療・介護・予防・住まい・生活支援など、地域の特色に合わせた地域住民の生活を支える仕組みを地域包括ケアシステムと言うが、このシステムの構築に向けた本市の現状と今後の取り組みについて問う。

答 **健康福祉部長** 昨年、保健所、市郡医師会、介護支援専門員協会、本市、氷川町ほか関係二十四団体による在宅医療連携体制検討会議及び検討委員会が設置され、医療介護の提供体制と連携に向けた課題協議、先進地視察、多職種連携研修会などを実施。また本年度は県のモデル事業として医療介護連携推進員を配置し、連携と人材育成のための研修会を実施している。今後は、第六期介護保険事業計画を地域包括ケア計画と位置づけ、システム構築に向け取り組みたい。



橋本 隆一

質問通告

- 成年後見制度について
- 小中一貫・連携教育について
- 教育委員会制度改革について
- パトリア千丁温泉施設の湯湯試験結果と今後の計画について

◆パトリア千丁温泉施設の湯湯試験結果と今後の計画について

問 六月定例会においてパトリア千丁温泉施設の源泉井戸調査結果について質問したところ、結果として源泉井戸の状態は、全体的に健全性は保たれており、今後は、六月の補正予算で計上された湯湯試験を行い、ポンプの深度を変え、現在の源泉井戸が使用できるか調査することであった。湯湯試験結果と今後の計画について問う。

答 **健康福祉部長** 深度四百メートルと五百メートルにおいて、湯湯量を変えながら水質の状況と水量の変動を確認するとともに、四十八時間の連続湯湯試験を実施した。調査の結果、湯湯された温泉水に不純物の混入も濁りもなく、水質及び湧水量ともに温泉水として再利用することに問題ないとの結果であった。今後、深度四百メートルにおいて、施設再開後に必要となる湯湯能力を有した水中ポンプの設置工事に向けて、早期に取り組んでまいりたい。



大倉 裕一

質問通告

- 自然災害に対する防災・減災への対応について
- 本市の冠水の現状と対策について
- 子ども・子育て新制度について

◆子ども・子育て新制度について

問 本制度は、平成二十七年から導入される。しかし、制度が複雑でわかりづらい。そこで、本市の目指すもの、次世代育成支援行動計画の評価と事業計画への反映、児童数の見通しを伺う。また、保育が必要とする認定基準、保育料における本市独自の軽減策及び保育料の考え、保育所の選択は利用者側の希望を尊重すべきと考えるが市の考えを伺う。

答 **健康福祉部長** 子供の育成は、重要な課題と認識しており、安心して子供を生み育てることができるよう、安心して子供を生み育てる。次世代育成支援行動計画で確認された課題の解決策を見出すとともに、減少が予測される児童数を考慮し、事業計画を策定する。また、保育の必要性は、子ども・子育て支援法の基準を踏まえ制定する規則等により判断し、保育料は、現在の減額措置を継続する方向で、さらに保育所への入所は、保護者の意向に沿う形で調整を行っていききたい。



前垣 信三

質問通告

- 過疎地対策について
- 住民自治について
- 松高小学校北門付近一帯の交差点改善について

◆松高小学校北門付近一帯の交差点改善について

問 松高小学校北側JAと郵便局に挟まれた交差点は、点滅信号のため朝夕の通学児童には非常に危険な通学路である。校舎北門の信号交差点から四十メートルの位置にさらにT字の交差点がある。狭い範囲での複雑な交差点を改善して、八代高校正門前の市道を延長することで二力所の交差点を一本化し、安心・安全な交差点にすべきと思う。見解を伺う。

答 建設部長 変則的な交差点の改善は、渋滞緩和、歩行者・自転車の安全確保の観点から、その必要性は十分認識している。

この交差点の改善には、要する費用も膨大であることから、市内における優先順位や、家屋移転に対する地元との合意形成など、解決すべき課題も多いため、関係者の御意見を聞きながら検討を行っていく考えである。



亀田 英雄

質問通告

- 空き家バンク調査事業について
- 観光事業について
- フードバレー事業について

◆空き家バンク調査事業について

問 マスコミ報道で、空き家数が八百二十万戸で過去最高になったとあった。空き家になると老朽化に伴う倒壊や火災の被害などの問題が起きてくることもあり、地域でさまざまな知恵を絞り、有効活用を図ることが求められている。今回補正予算に計上されている、空き家バンク調査事業について、事業の目的、構想さらに課題の認識について伺う。

答 建設部長 空き家バンクは、空き家の有効活用を通して、市外から市内への移住定住を促進する一つの手段であり、地域を維持・発展させていく地域づくりにつながるものと考えている。空き家調査後、所有者の申し出により空き家情報をインターネット上で広く周知することで、利用者を募る方法での運用を予定している。ただし他の自治体の事例では、相続や抵当権設定、家財道具の整理、需要と供給のギャップ等解決しなければならぬ問題や課題が多く、検討が必要である。

問 全国インフラ設備において、ほとんどは高度成長期に建設されたものであるようだが、とりわけ道路施設において老朽化が進むことが予測される。少子高齢化社会を迎え、維持管理について予算面も含め、大いに不安である。本市の現状と問題点、点検や補修について、現在の対応状況を伺う。また、今後の維持管理の計画について、本市の見解を問う。

答 建設部長 本市においても、道路施設の高齢化が進み、補修の必要な箇所が増加してくると考えている。現在、これらの道路施設については、安全で円滑な交通を確保するため、日常の道路パトロールや維持補修と、舗装や橋梁の点検補修を計画的に行っている。そのような中、道路法の改正に伴い維持管理のレベルが厳格化され、専門の調査機関の確保、点検後の執行体制等が課題と考える。今後、実施に向けて、財源の確保や職員数の拡充などを検討していきたい。

問 本市の道路施策について

質問通告

- 本市の道路施策について
- 八代日奈久道路側道について

◆本市の道路施策について



中山 諭扶哉



幸村 香代子

質問通告

- ごみ減量の取り組みについて
- 新環境センター建設について
- 指定管理者制度について

◆新環境センター建設について

問 新環境センター建設の準備が進んでいるが、管理棟については、環境学習施設の整備などを含んでいる。これは市民からの意見を事前に集約されたものである。今後、施設の内容について市民との具体的な意見交換が行われる時期と、環境センターの全体像が市民に公表される時期についてのスケジュールを問う。

答 環境部長 環境学習施設の施設・設備についてアンケートをいただいた環境団体等との意見交換の時期については、事業者が決まった後、基本設計の期間中に御意見を伺う機会を設ける予定である。環境センター全体像の中で、ごみ処理を行うエネルギー回収推進施設は、今年度十二月から三月の間に落札した企業名、処理方式や入札金額など。その他の施設は、来年十月以降に議会に設計内容の報告をした上で、各施設の配置や概要などの全体像を公表できるものと考えている。

教育関連



中村 和美

質問通告

- 市立武道館建設について
- 県道二見田浦線について
- 小中一貫・連携教育について

◆小中一貫・連携教育について

問 小・中学校の先生方の連携を密にすることが、連携教育の第一の目的であると考えている。小中一貫・連携教育は、子供たちのいじめ、不登校、自殺の予防策として、大変重要であり、子供たちを大事に守り、育てるためにも、大切であるが、今後の計画を教育長へ伺う。

答 教育長 モデル校での取り組みの検証を踏まえ、平成二十七年から市内全ての中学校区で八代型小中一貫・連携教育を導入する。それに向け、全体構想の策定、連携コーディネーターの位置づけ及び先生をつなぐ・子供をつなぐ・地域とつなぐ取り組みなど、全中学校区共通の七つの取り組みを実践目標として定めた。来年度以降、この七つの取り組みを中心に、義務教育九年間を見通した学習指導や生徒指導の推進を図り、八代の子供たちの生きる力の育成に努めていく。

議員研修会

平成26年8月19日(火)
熊本市のKKRホテル熊本にて、
熊本市議会議長会主催で県下
14市議会議員を対象に議員研
修会が開催されました。

議員の資質向上を図り、今後
一層、議会機能の向上や政策提
言に努めてまいります。



講師／同志社大学学長 村田晃嗣氏
テーマ／「変動する国際情勢と日本の課題」

平成25年度分

本市の行政視察受け入れ状況

行政視察とは、議員が他自治体等に出向き、各種施設や先進的な取り組みなどについての実情を直接把握することです。

本市には全国各地の市議会等から行政視察の依頼があり、下記の内容で視察受け入れを行いました。

主な視察内容と来訪自治体

Best
1

住民自治によるまちづくり

長野県千曲市議会・兵庫県三木市議会・千葉県野田市議会
山口県下関市議会・長崎県長与町議会・千葉県君津市議会
広島県尾道市議会

42名

Best
2

コミュニティバス、乗合タクシー運行事業

岩手県奥州市議会・静岡県富士宮市議会・山口県長門市議会
愛媛県今治市議会・愛知県西尾市議会

25名

Best
3

中心市街地活性化基本計画

兵庫県豊岡市議会・沖縄県与那原町議会・岡山県笠岡市議会

14名

その他

やっちょろ認知症応援ネットワーク

茨城県取手市議会・静岡県伊東市議会

12名

本町・通町商店街の取り組み

滋賀県草津市議会

10名

行財政改革の取り組み

大分県佐伯市議会

10名

八代緑の回廊線整備事業

岩手県盛岡市議会

9名

※他調査項目14項目について下記議会の視察を受け入れ

福井県福井市議会 8名
佐賀県伊万里市議会 6名
長崎県諫早市議会 4名
徳島県徳島市議会 3名
千葉県柏市議会 2名

滋賀県近江八幡市議会 8名
広島県尾道市議会 5名
大分県中津市議会 4名
沖縄県読谷村議会 2名
千葉県我孫子市議会 1名

合計30市町村議会 165名

総務委員会・ 行政視察の 報告

◎日程 平成26年8月6日（水）～8日（金）

委員 福嶋 安徳（委員長）
鈴木田 幸一（副委員長）
上村 哲三 島田 一己
中山 諭扶哉 橋本 幸一
矢本 善彦

葛飾区（東京都）

調査事項 ◎ 戸籍住民課窓口サービスの改善(総合窓口化)について

調査目的

区民サービスの向上のため、来庁した区民ができる限り少ない窓口で迅速に手続きが行えるよう総合窓口化や窓口整備を行っていることに対して調査した。



茅ヶ崎市（神奈川県）

調査事項 ◎ 防災対策について（防災ラジオ）

調査目的

市民からの防災行政用無線の放送が聞こえづらいとの声を受け、新型の防災ラジオ《聞こえない・雑音が多いを解消する全国初の新型ラジオ》を企業と開発し、有償配布を行っていることに対して調査した。



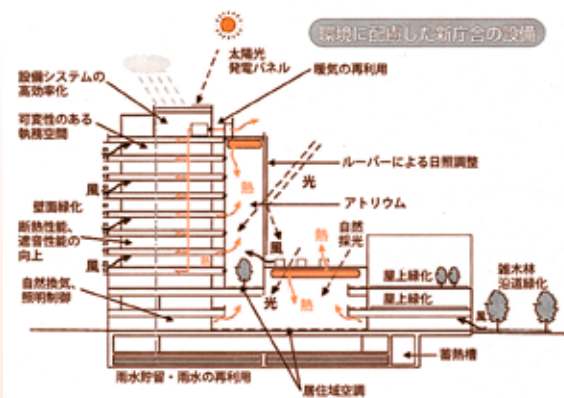
新型防災ラジオ
約600g/横19cm×高さ12cm×幅6.5cm

町田市（東京都）

調査事項 ◎ 市庁舎建設について

調査目的

昭和47年の建設から41年が経過した本市本庁舎は、老朽化が著しい状況であり、今年度から基金を積み立て、庁舎建設に向け準備を行っている状況である。平成24年7月に新庁舎を建設した町田市を調査した。



（環境に配慮した町田市新庁舎設備図）

[illegible]

平成26年9月定例会採決結果

		議席 番号	1	2	3
件 名		審議 結果	橋 本 幸 一	田 中 安	田 方 芳 信
市 長 提 案	◆決 算◆（2件）				
	議案第70号・平成25年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算	全	／	欠	○
	議案第71号・平成25年度八代市病院事業会計資本金の額の減少及び決算	全	／	欠	○
	◆予 算◆（4件）				
	議案第72号・平成26年度八代市一般会計補正予算・第4号	全	／	欠	○
	議案第73号・平成26年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第1号	全	／	欠	○
	議案第74号・平成26年度八代市介護保険特別会計補正予算・第1号	全	／	欠	○
	議案第88号・平成26年度八代市一般会計補正予算・第5号	全	／	欠	○
	◆事 件◆（6件）				
	議案第75号・専決処分の報告及びその承認について（平成26年度八代市一般会計補正予算・第3号）	全	／	欠	○
	議案第76号・あらたに生じた土地の確認について	全	／	欠	○
	議案第77号・町区域の変更について	全	／	欠	○
	議案第78号・市道路線の廃止について	全	／	欠	○
	議案第79号・市道路線の認定について	全	／	欠	○
	議案第80号・契約の変更について（八代市公共下水道八代市水処理センターの建設工事委託）	全	／	欠	
	◆条 例◆（7件）				
	議案第81号・八代市暴力団排除条例の一部改正について	全	／	欠	○
	議案第82号・八代市営住宅設置管理条例の一部改正について	全	／	欠	○
	議案第83号・八代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	多	／	欠	○
	議案第84号・八代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	多	／	欠	○
	議案第85号・八代市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	全	／	欠	○
	議案第86号・八代市保育の実施に関する条例の廃止について	全	／	欠	○
	議案第87号・八代市報酬及び費用弁償条例及び八代市福祉事務所設置条例の一部改正について	全	／	欠	○
	◆人 事◆（1件）				
	議案第101号・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（松永松喜氏）	多	／	欠	○
	◆請願・陳情◆（3件）				
	請願第4号・農協改革に関する意見書の提出方について	全	／	欠	○
	請願第6号・手話言語法制定を求める意見書の提出方について	全	／	欠	○
	陳情第5号・環境センター施設整備事業に伴う管工事業への配慮方について	全	／	欠	○
議員提案	◆発議案◆（3件）				
	発議案第2号・空き家問題の解消に向けた対策に関する意見書案	全	／	欠	○
	発議案第3号・手話言語法の制定を求める意見書案	全	／	欠	○
	発議案第4号・農協改革に関する意見書案	全	／	欠	○

意見書

九月定例会において意見書案三件が提出され、原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆空き家問題の解消に向けた対策に関する意見書

◆手話言語法の制定を求める意見書

◆農協改革に関する意見書



決算審査特別委員会設置

平成二十六年年度一般会計及び特別会計決算が九月定例会最終日の九月二十五日に上程されました。

同日、委員十一人で構成する決算審査特別委員会を設置し、正・副委員長の一選を行い、調査は閉会中の継続審査に付しました。
なお、委員会の構成は、次のとおりです。

委員会開催日	内容
10月 1日(水)	正副委員長互選
2日(木)	決 算 審 査
3日(金)	
8日(水)	
9日(木)	

委員長	田方 芳信
副委員長	松永 純一
委員	鈴木田 幸一
	中山 諭扶哉
	野崎 伸也
	堀 徹男
	百田 隆
	中村 和美
	成松 由紀夫
	福嶋 安徳
	増田 一喜

編集後記

さわやかな秋の季節になりました。ことしの夏は雨の日が続き、日照不足による稲作への影響が心配されましたが、例年どおりおいしいお米をいただくことができ、安堵しています。市内でも、ところによっては雨による多少の被害は出ましたものの、大雨や台風のような大きな災害から難を逃れることができました。

やつしろ市議会だよりは、市民の皆様には議会で討議された内容を御報告し、御理解をいただくことが最も大切な使命であります。限られた紙面ですが、議会広報委員会検討を重ね、発行に至っております。

さらに、今回から議長の諮問により、よりわかりやすい議会報の検討を始めました。他市のすぐれた議会報や、専門家によるアドバイスを受けながら、親しまれる紙面へと改善に努めてまいります。

八代市議会広報委員会

